

# 低炭素社会実験 in 飯塚 2009

飯塚市でネットワークを利用したエコ・ドライブの実証実験



## 実施期間

実証実験期間 平成21年12月14日(月)～18日(金)  
実証実験時間 午前7時30分～午後6時頃  
実証実験場所 飯塚市内(国道201号)

## 目的

地域企業・市民が「低燃費走行推進システム」を利用しルート選択や渋滞回避などを行うことにより、燃費向上運転の効果としてCO<sub>2</sub>排出量削減を目標とする「低炭素地域交通社会」の実現を目指します。

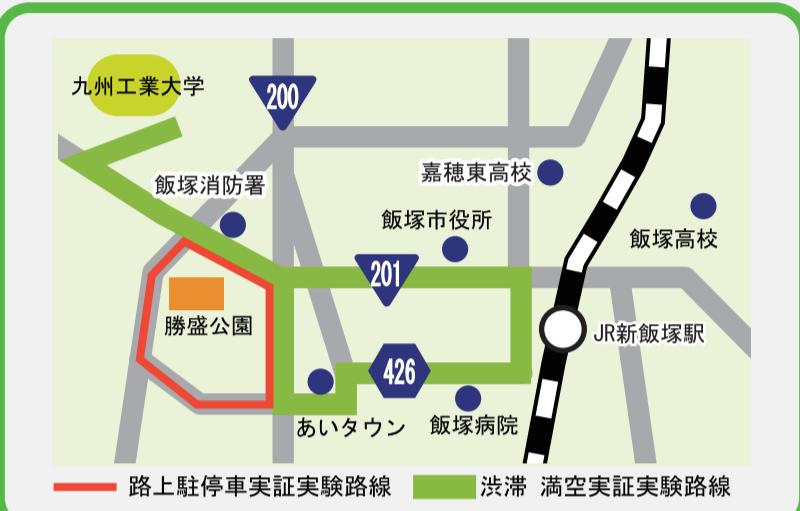
## 実施内容

- 燃費最適ルート検索ナビ  
最適ルート検索により運転を支援。
- 路上駐停車情報提供システム  
路上駐停車情報により交通の流れを滑らかに。
- アイドリングストップ  
渋滞・信号情報による支援。
- 渋滞緩和  
渋滞情報に基づき迂回路を誘導。
- バスの乗客平均化システム  
満席・空席情報により乗客を平均化、燃費も向上。

## 実施方法

バスを基地局として、各々のバスが走行している場所の渋滞や路上駐停車の情報を集め、バス同士で情報交換。その情報を一般自動車へ発信し、燃費最適ルートの検索や燃費向上運転を支援。

## 実証実験ルート



<管 理 法 人>(財)九州産業技術センター  
<事業実施機関>国立大学法人九州工業大学情報工学部、西鉄情報システム(株)、富士通九州ネットワークテクノロジーズ(株)、(株)デンソーカー九州、(株)安川情報システム、(株)ジーイーエヌ、(株)キューブス、(株)マルテック、(株)ハインターナショナル  
<協 力 機 関>西日本鉄道(株)、飯塚商工会議所、飯塚青年会議所、NPO法人こすみんず、(独)情報通信研究機構、福岡県、飯塚市  
本事業は、経済産業省の委託事業である「平成20年度低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業」の一環として実施しております。

## 自動車情報ネットワークのしくみ

1

バスを基地局として、各々のバスが、走行している場所の渋滞や路上駐停車の情報を集め、バス同士で情報交換。

赤信号伝達

3

バスに乗車する人がバス停のQRコードにアクセスすることにより空席情報を受信する。

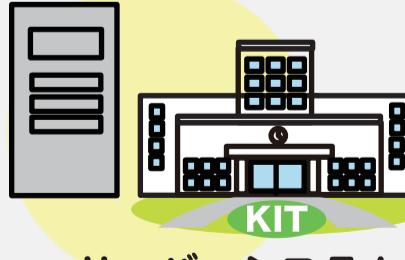
赤信号確認

渋滞情報

2

1の情報をバスまたは路側装置より一般自動車へ発信。渋滞回避でき、燃費向上につなげる。

路側装置  
バス停やバス営業所に設置



サーバ・システム

バス停

混雑度  
空席